

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> ・現入所者において、生活歴や嗜好など十分に聞き取れていない場合は、カンファレンスなどで聞き取りを行い、支援に活かす。 ・新規入所者には十分なアセスメントを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活シート」を活用し、利用者の生活や好きなこと、嫌いなことなどを聞き取り、支援者で人物像を共有する。 	6ヶ月
2	33	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人、家族と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス時には終末期のあり方について、利用者や家族の思いを聞き取る。 ・利用者の体調に大きな変化が見られた場合は、その都度家族の思いを確かめながら支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「丹寿荘マニュアル」に基づき、延命措置も含めた終末期の対応について、主治医と連携しながら細かい部分の取り決めを行う。 ・取り決めの内容を連携医療機関や事業所に伝え、グループホームで対応できない部分の調整を行う。 	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。